

2014年10月15日
JR 東日本秋田支社

海外研修生の受け入れについて

JR秋田支社は、東日本鉄道文化財団が主催する「JR East フェローシップ研修」の海外研修生2名（マレーシア鉄道、タイ国鉄）を受け入れ、秋田総合車両センターにおいて実務研修を行います。

この実務研修に先立ち、両国研修生が秋田支社を表敬訪問いたしますのでお知らせいたします。

- 1 日時 2014年10月20日（月） 11時00分から
- 2 場所 JR秋田支社 支社会議室
- 3 研修生 Mr. Mohd Hishamuddin Salim
ミスター・モハマド・ヒシャムディン・サリム（29歳・男性）
呼称（ヒシャム）さん
マレーシア鉄道 中央車両修繕工場

Mr. Nopporn Kaewamput
ミスター・ノーポン・カエワンプット（36歳・男性）
呼称（ノポーン）さん
タイ国鉄 Bang Sue（バンスー）ディーゼル機関車センター
- 4 応対者 JR秋田支社 支社長、運輸部長、車両課長
- 5 研修期間 10月20日（月）～10月31日（金）
- 6 研修内容 秋田総合車両センターにおける車両メンテナンス作業の見学及び実習

■ 参考

※1 東日本鉄道文化財団

JR東日本から基本財産の拠出を受けて、1992年3月に設立され、

- (1)地域文化の振興、
- (2)調査・研究の促進と支援、
- (3)国際理解・国際交流の推進

を事業の三つの柱とし、人間性豊かな鉄道文化、交通文化を育てることを目的として活動しています。

※2 フェローシップ研修

アジア諸国の鉄道の若手幹部職員を日本に招き、具体的な研究テーマに基づいて鉄道経営、鉄道技術を学ぶ企業研修です。また、日本への理解を深めるために、JR東日本社員をはじめ多くの日本人との交流を通じて、日本の社会・文化に接する機会を設けるために行なっています。